

新年度を迎え、あっという間に1か月がたち、皆様どのようにお過ごしでしょうか。  
今年度は第5回全国大会を10月12日・13日に熊本県阿蘇市にある国立阿蘇青少年交流の家で開催する予定で、今、九州地区のピアっ子たちが準備に取りかかっているところです。  
詳細は決まり次第ご連絡します。

# 第5回 ピアカウンセリング 全国大会 in 九州

日時: 2013年10月12日(土)13時

2  
10月13日(日)15時まで

会場: 国立阿蘇青少年交流の家  
〒869-2692  
熊本県阿蘇市一の宮町宮地6029-1

☆空港から無料送迎バスが出ます

参加費: 5000円 (ピアっ子)  
15000円 (養成者)

連絡先: kumapeer@gmail.com



## 申し込み方法

メールでお申し込みください♪  
メールアドレス:

[kumapeer@gmail.com](mailto:kumapeer@gmail.com)

メールには①名前(フリガナ)、  
②ピアネーム、③性別、④郵便番号・住所、⑤電話番号・メールアドレス、⑥所属(学校名等)・活動県、⑦大人の方は養成者またはコーディネーター、を記入してください。  
\*団体参加の場合は、参加者全員分の①~⑥の内容をまとめておたたくと助かります。

申し込み締め切り

平成25年8月31日(土)

参加費には、1泊の宿泊料と3食(夕、朝、昼)と資料代が含まれます。



**仲間が増えました！  
思春期ピアカウンセラー養成者数**

**◆2011 年度思春期ピアカウンセラー養成数◆**

NO	都道府県 (実施自治体)	平成 23 年度養成人数		
		男	女	合 計
1	北海道【中出】	0	17	17
2	青森県【岩間】	0	10	10
3	秋田県【岩間】	1	9	10
4	岩手県【後藤】	1	31	32
5	山形県【遠藤】	1	8	9
	山形県【遠藤】	0	8	8
6	福島県【石田】	5	11	16
	福島県【石田】	0	9	9
7	栃木県【高村】	2	31	33
	栃木県【安達】	2	9	11
8	群馬県【池田】	3	28	31
9	長野県【平林】	4	13	17
	長野県【松田】	4	17	21
10	兵庫県【川崎】	7	30	37
11	鳥取県【前田】	4	7	11
12	岡山県【忠津】	1	3	4
13	香川県【松本】	3	18	21
14	徳島県【忠津】	1	3	4
15	宮崎県【前田】	0	9	9
16	熊本県【前田】	1	7	8
17	鹿児島県【下敷領】	3	16	19
18	U-COM【三橋】	1	5	6
合 計		44	299	343

◆2012 年度思春期ピアカウンセラー養成数◆

NO	都道府県 (実施自治体)	平成 24 年度養成人数		
		男	女	合 計
1	北海道【中出】	0	1 6	1 6
	北海道【加藤】	0	1 2	1 2
2	青森県【岩間】	0	5	5
3	秋田県【岩間】	0	1 9	1 9
4	岩手県【後藤】	1	2 0	2 1
5	山形県【遠藤】	3	8	1 1
6	福島県【石田】	2	1 6	1 8
7	栃木県【高村】	3	3 9	4 2
8	群馬県【池田】	0	3 2	3 2
9	長野県【赤澤】	1	1 0	1 1
	長野県【松田】	0	1 5	1 5
10	兵庫県【川崎】	2	1 3	1 5
11	鳥取県【前田】	0	1 7	1 7
12	香川県【松本】	0	2 0	2 0
13	愛媛県【川越】	2	1 8	2 0
14	宮崎県【前田】	0	3	3
15	熊本県【前田】	0	3	3
16	鹿児島県【下敷領】	2	6	8
17	長崎県【前田】	0	1 4	1 4
18	佐賀県【前田】	0	3	3
19	U-COM【三橋】	2	1 2	1 4
合 計		1 8	3 0 1	3 1 9



## 第8回「ピアカウンセラー養成者」養成セミナーから フォローアップセミナーに参加して

長野県 土田 沙織

平成24年12月15・16日に東京都新宿区にある「保健会館新館」を会場で開催されましたピアカウンセラー養成者養成講座フォローアップセミナーに参加しました。

今回は7月に開催されましたベーシックセミナーから受講者が各地にて活動してきた報告を踏まえた参加となりました。私自身も、8月に長野県で開催されましたピアカウンセラー養成講座に参加させていただき、その時に感じたことや課題を持って参加する形となりました。

私は、数年前の看護学生だった頃に長野県で開催していただいたピアカウンセラー養成講座に参加しピアカウンセラーとして数年間活動に参加させていただいていました。またその後、保健師養成学校に行き仕事についてはサポーターとして活動に参加させていただいていました。私が保健師を目指そうと思ったことや、今の生き方があるのはピアカウンセラーという活動やその活動に携わっている色々な方々との出会いがあったからだと思っています。そのため、私自身ピアカウンセラーには特別な思い入れがあり、いつかは養成者として今度はピアっ子の養成に関われたらいいなと漠然と思っていましたが、今回初めて養成者研修生としてピアカウンセラー養成講座に参加させていただくこととなりました。実際に参加してみて、私自身の技術の問題はもちろんですが、ピアっ子とピアのような立場で関わりたい思い、サポーターとして関わりたい思い、養成者研修生として関わりたい思い等様々な感情が出てきてしまい、自分がどのように振る舞いどのように関わればいいのか迷いがでてきてしまいました。

しかし、今回のフォローアップセミナーに参加し、他参加者の皆さんと共に活動の発表やこれからどんなことを取り組んでいきたいかをワールドカフェ等でたくさん話をするのができ、私自身のもやもやしていた気持ちも晴れ、これからどんな活動をしていけばいいのかが見えてきた気がします。また、これから改めて頑張っていこうと思うことができました。これから2年間は様々な養成講座に参加させていただき、経験を積んでいく期間です。ピアの活動に携わることで私自身も元気になれ、明日からまた頑張ろうという気持ちをもらうことができると感じています。

また、養成者養成講座でも素敵な仲間と思える方々と出会うことができました。今回の新たな出会いに感謝をし、これからも私自身が元気をもらいながら、今の私を大切に養成者となれる日を夢見て頑張りたいと思います。

これからもよろしくお祈りします。



## 「ピアカウンセラー養成者認定・ブラッシュアップセミナー」から

### ピアカウンセラー養成者認定試験を受けて

幸崎若菜（わかめちゃん）

軽井沢の思春期学会で「今年認定受けるんだよ！」と高村先生に言われ、養成講座での実践経験が少ないのに受験していいのかな？と不安に思っていました。ですが、同期生である服部律子さん（りっちゃん）が受験する意思を固めており、それに感化されたのと、9月下旬に U-com 主催のピアカウンセラー養成講座に参加することができたので、認定試験の受験を決意しました。認定試験前の駆け込みでの実践ではありましたが、その反省を活かして、認定試験に臨むことができました。

ピア研の理事5名の前での模擬授業、どう考えても緊張するだろうと思っていましたが、当日配布されたセミナーのレジュメの表紙に、「せのびなんかすることないよ。あなたのままでいいんだよ」のイラストを見て、一人で勝手にほっとして、なるべく平常心で背伸びせず今の自分ができることをやればいいんだと、心を落ち着かせていました。

模擬授業をして、理事の方々からの講評とびあっこからの愛あるお手紙をいただき、今後の実践における課題がより明確になり、身の引き締まる思いです。認定をいただいても、まだまだ駆け出しのひよっこのわかめには変わりありません。認定講師のレベルを下げないように、これからも頑張りたいと思います。

2日目のブラッシュアップセミナーでの土井先生の講義、内容が盛りだくさんでした。情報量の多さから、正直まだ内容をうまく整理できていませんが、講義を振り返りつつ、先生の著書「友だち地獄」を読んで、整理したいと思います。渡部先生の講義も、実際の相談内容を織り交ぜて話していただき、若者の現状を想像しながら聞くことができ、今を生きる思春期の若者の生きにくさを知れた気がします。時代と共に若者の価値観や置かれている環境は変化していくため、そのことを受け止めながら、若者に関わっていきたいと思います。



## ピアカウンセラー養成者認定試験に参加したピアっ子から

自治医大1年 園部美咲（みさき）

今回のピアカウンセラー養成者認定試験に挑戦された方々、運営に携わった方々、2日間お疲れさまでした。私は今年の夏にピアカウンセラー養成講座の前期セミナーを受け、9月末に初めて中学ピアに参加したくらいの経験しかないので、今回はピアっ子としてではなく一人の受講者という目線で、4人の受験者には率直な感想を伝えられたかなと思います。授業を受けてみて、様々な工夫がなされていて分かりやすかった部分が多くありましたが、逆にアレンジしすぎて伝えたいことが何なのか分からなくなってしまった部分もありました。18歳～22歳は自分や性についてとても敏感な時期だと思います。自分とは何か、どうしたら円滑なコミュニケーションがとれるか、そして正しい性行為とは何か。知っているようで実は分からないことだらけの時期であり、精神的に不安定になりやすい時期でもあります。どう伝えれば理解を得られるのか、どういうアプローチをすれば心を開いてくれるのかなど悩まれたのではないのでしょうか。自分は養成者としてピアっ子を育てる立場だからと壁を作らずに、エクササイズやエンカウンターときにはみんなの輪の中に入って自分もひとりの仲間なんだよという意識で接すれば、若者の素直な意見を聞けたり相手に心を開いてもらうきっかけを作ってあげられると思うので、これは忘れないでいただきたいと思いました。

今回参加してみて、正直この養成者認定試験が全国から集まって開かれるような大きな試験だとは思わず驚きました。自分の出身地や周りの都道府県の思春期支援をどうにかしなければならぬと口を揃えておっしゃっており、若者の心を支え理解してくれるピアっ子が全国に必要なのだなと感じました。自治医科大学の先輩ピアっ子は栃木県内だけでなく県外でも数多くの活動に参加し活躍しています。私も全国のピアっ子のお手本になれるような寄り添いができるようになりたいと改めて感じました。

### <編集後記>

南は3月中旬には桜が満開になったのに、北海道では5月の連休中も大雪で被害が出るなどの異常気象、またPM2.5の環境問題など、私たちを取り巻く自然環境は大きな揺れが続いています。そのような中で、人間の価値観がますます多様化している影響か、最近、仲間づくり、仲間教育へのニーズが高まっていることをひしひしと感じています。



日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会  
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1  
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門  
電話 0285-58-7338  
FAX 0285-44-7217  
発行人 高村寿子 編集人 前田ひとみ  
年3回発行 <http://www.iocaea.net/>